

資料1

「徳島県教育振興計画」の改善見直しの概要

「徳島県教育振興計画」は、本県の教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な方針や取組みを明らかにしたものです。

基本目標として、「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」を掲げており、その実現のため、6つの基本方針と重点事業を定め、その推進に積極的に取り組んでいるところです。

この計画の進行管理にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、社会状況の変化や新たなニーズなどに対応して、毎年度、必要な見直しを行うこととしており、今回、平成24年度の改善見直しをとりまとめました。

【基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現】

現状と課題

生涯を通じた「学び」や成長をはぐくむ場は、学校や家庭、地域の中にあります。現在、学校・家庭・地域がそれぞれに求められる役割を十分に果たすための体制の整備に取組み、家庭教育支援者の養成や学校サポーターズクラブの設置などで着実な成果を上げています。

一方では、東日本大震災以降、社会における絆の大切さが再認識され、これからの日本を創っていく子どもたちを地域の中で地域の方たちとともにはぐくんでいくことがこれまで以上に重要になってきています。また、これまでの学校の中だけの防災教育から、地域をフィールドとした防災教育を展開していくことが求められています。

改善・見直しのポイント

- 祖父母世代にまで対象を広げた家庭教育支援者養成講座の受講者数や「とくしまの子どものためのブックリスト100プラス!」・「とくしまの赤ちゃんのためのブックリスト100ジャスト!」推進フォーラムの開催等による子どもの読書活動の推進に関するイベント参加者数が数値目標を前倒しで達成したために目標数値を引き上げ、取組みの輪を一層広げます。
- より継続的な学校支援を実現するための「学校サポーターズクラブ」の認証が順調に推移していることから、目標数値を引き上げ、学校支援活動のひろがりを促進します。
- 学校を核とした地域の絆づくりや防災学習を推進するためのキーパーソンとなる「学校・家庭・地域の連携支援スペシャリスト」の養成を新しく指標に加えます。
- 幼稚園における預かり保育実施率の目標数値を引き上げ、子育て世代の支援とともに地域で子どもを育てていく環境を整えます。
- 高校におけるインターンシップの実施率及び中学校における職場体験の実施率がともに順調に推移していることから目標数値を引き上げ、より一層社会的・職業的自立に向けた取組みを進めます。

	改善見直し内容	指標
①	「家庭教育支援者養成講座受講者数」の目標数値を引き上げ	H24 1,550人(累計) → H24 1,600人(累計)
②	子どもの読書活動推進に関するイベント参加者数を引き上げ	H24 8,000人(累計) → H24 9,500人(累計)
③	「学校サポーターズクラブ」の設置目標数値を引き上げ	H24 10市町村 → H24 15市町村
④	学校を核とした地域の絆づくりや防災学習を推進するため、キーパーソンとなる「学校・家庭・地域の連携支援スペシャリスト」の養成を推進	推進
⑤	幼稚園における「預かり保育実施率(公私立)」の目標数値を引き上げ	H24 82% → H24 84%
⑥	「高等学校におけるインターンシップの実施率」の目標数値を引き上げ	H24 65% → H24 68%
⑦	「中学校における職場体験の実施率」の目標数値を引き上げ	H24 95% → H24 98%

④は新たに設定した事業

【基本方針2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現】

現状と課題

急激に社会が変化し、価値観が多様化する現代において、それぞれの個性を生かしながら、生涯にわたって学習する意欲や態度をはぐくみ、資質や能力を伸ばすことが学校教育に求められています。そのために「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」をはぐくむさまざまな事業に取り組むとともに、特別な支援を必要とする幼児・児童生徒に対して、適切な指導や必要な支援を行う施策を実施し、順調に成果を上げています。

しかしながら、様々な要因から不登校となっている子どもたちや発達障害等により特別な支援を必要としている幼児・児童生徒に対する支援の必要性は一段と高まっています。また、特別支援学校の適正配置の実現により、それぞれの障害種に対応できるよう、教員の専門性をより一層向上させることが課題となっています。

改善・見直しのポイント

- 「学校と地域のつながり」をテーマに学校教育や学力向上に重点を置いた行事を行い、県民の方々とともに学校教育について考える場を設定します。
- 小・中学校のスムーズな接続と学力向上を図るためにモデル地域を指定している小・中一貫教育について、数値目標を引き上げ、研究成果の普及を促進します。
- スクールカウンセラーの配置拡充やスクールソーシャルワーカーの増員等により児童生徒の多様な悩みに対応できる体制を充実します。

- 平成24年度からの中学校での新学習指導要領の全面実施に伴い、必修となる武道において指導力の向上や事故防止のための外部指導者を派遣します。また、その他、学校体育における事故防止のための研修会を開催します。
- 特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒に対して、適切な指導及び必要な支援を行うため、「個別の教育支援計画」の作成を更に推進します。
- 4月に開校する「みなと高等学園」を中核として各特別支援学校との連携による全県でのサポート体制（とくしま特別支援トータルネットワーク）の確立を図ります。
- 県立学校において、学校支援システム等の導入により教職員の校務負担を軽減し、生徒と向き合う時間を増加させ、魅力ある学校づくりを行うため学校の情報化を推進していきます。

	改善見直し内容	指標
①	県民の方々とともに学校教育を考える場を設定	開催
②	小・中一貫教育についての研究を進め、成果を普及するための「モデル地域」の目標数値を引き上げ	H24 12地域 → H24 16地域
③	「少人数学級（35人を上限とする学級編制）の推進」において新規の導入目標を設定	H24 小学4年に新規導入
④	保護者の有害環境対策フィルタリングの認知率の目標数値達成年度を見直し	H23 100% → H24 100%
⑤	スクールカウンセラーの配置を県立学校に対しても拡充	全公立小中学校 → H24県立学校を追加
⑥	スクールソーシャルワーカー数の目標数値を引き上げ	H24 8人 → H24 9人
⑦	学校体育における事故防止に向けた研修会の開催を指標に設定	H24 4回
⑧	柔道実施校（中学校）への外部指導者の派遣を指標に設定	H24 22校（全実施校）
⑨	子どもたちの健康課題を解決するための専門医派遣回数の数値目標を引き上げ	H24 120回 → H24 128回
⑩	「個別の教育支援計画を作成している学校の割合」の数値目標を引き上げ	H24 93% → H24 97%
⑪	進路開拓のための特別支援学校の教員による事業所等への訪問回数を引き上げ	H23 1,000回 → H24 1,100回
⑫	みなと高等学園を中核とした全県支援ネットワーク（とくしま特別支援トータルネットワーク）の構築を設定	推進
⑬	「学校版環境ISO認証取得校数」及び「新学校版環境ISO認証取得校数」の数値目標を引き上げ	H24 220校（新・旧ISO） → H24 240校 （新・旧ISO）
⑭	県立学校における学校情報化の推進を設定	推進

【基本方針3 信頼される教育環境の実現】

現状と課題

「未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現」を図るために、信頼される教育環境の実現を図る必要があります。そのために、多様な学びを可能にする活力と魅力ある学校づくりを進め、併設型中高一貫校の全県展開を実施し、オンリーワンハイスクールの育成などを進めています。また、南海・東南海地震に備えて校舎の耐震化にも取り組んでいます。東日本大震災では学校が避難所として果たす役割の大きさが改めて認識されたことを受け、避難所としての機能強化が必要となっています。

今後は今までにも増して、地域社会からの期待に応えられる教育環境を実現するための施策が求められており、次期徳島県教育振興計画の策定等を通して取り組みを進める必要があります。

改善・見直しのポイント

- オンリーワンハイスクールの育成のなかで、全国に発信できる徳島ならではの取り組みを行う日本のオンリーワンハイスクールを目指すことを追加します。
- 災害発生の際に「拠点避難所」となる県立学校等において、必要な整備をおこない、安全で安心な学校施設の整備を推進します。
- 平成24年度からの中学校での新学習指導要領の全面実施に伴い、必修となる武道において指導力の向上や事故防止のための外部指導者を派遣します。また、その他、学校体育における事故防止のための研修会を開催します。(再掲)
- 県民から信頼される教職員となるために、コンプライアンス意識のより一層の醸成に取り組みます。
- 本県教育のめざすべき方向を明らかにし、その実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たな「徳島県教育振興計画」を策定します。

	改善見直し内容	指 標
①	オンリーワンハイスクールの育成に、全国に発信できる徳島ならではの取り組みを行う日本のオンリーワンハイスクールを目指すことを追加	推進
②	コンプライアンス推進員を牽引役としてコンプライアンス意識のより一層の醸成に取り組むことを設定	H24 研修会を各所属で年間3回以上開催
③	「拠点避難所」となる県立学校等の整備を推進	推進
④	学校体育における事故防止に向けた研修会の開催を指標に設定(再掲)	H24 4回
⑤	柔道実施校(中学校)への外部指導者の派遣を指標に設定(再掲)	H24 22校(柔道実施の全中学校が対象)
⑥	次期「徳島県教育振興計画」の策定	H24年度中に策定

【基本方針 4 人権尊重社会をめざす教育の実現】

現状と課題

すべての個人が自律した存在として、それぞれの幸福を最大限に追求することができる平和で豊かな社会は、県民相互の人権がともに尊重されてこそはじめて実現されるものです。このような、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、人権にかかわるさまざまな作品の募集・展示による啓発や社会教育における人権教育推進者の養成に取り組み、成果を上げています。

しかしながら、差別落書きなど人権を踏みにじる行為が存在している現実もあります。そのため、現在のさまざまな施策を更に推進し、県内全域にわたり人権尊重の気運を高める必要があります。

改善・見直しのポイント

○平成23年度まで実施した人権問題の解決に向けた思いや人権尊重の精神が態度や行動に表れた「心にひびくとおきのエピソード」作品募集の成果を引き継ぎ、「ありがとうを伝えたい『私からの手紙』」の作品募集を行い、社会全体における人権意識の高揚と啓発を推進します。

	改善見直し内容	指標
①	ありがとうを伝えたい「私からの手紙」への応募作品数の数値目標を設定	H24 1,000

【基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現】

現状と課題

あらゆる世代の人々が「いつでも」「どこでも」学習できる環境を整え、「学び」を生きがいとし、その成果を地域社会への貢献につなげることのできる生涯学習社会の実現をめざし、図書館機能の充実や生涯学習に係る人材の育成を行ってきました。

今後、高齢化が一段と進行するにあたって、より一層、誰もが利用しやすい学習情報の提供を心がける必要があるとともに、より多様な学びの要望に応えることが求められており、さまざまな学びの場を提供することが必要です。

改善・見直しのポイント

- 様々な学びの場を提供するための学芸員の養成をめざして、文化の森と四国大学、徳島大学及び鳴門教育大学の3大学が連携し、学芸員養成科目を開講します。
- 平成22年度に構築した「とくしまネットワーク図書館」の活用などで市町村立図書館への貸出冊数が順調に伸びていることから、目標数値の引き上げを行い、県民の学習意欲に応えられる図書館機能の活用を推進します。
- 博物館と学校の連携を進め、子どもたちが郷土の自然、歴史、文化、人物などに対して理解を深めることができる学校授業への博物館からの講師派遣が順調に増えていることから、目標数値の引き上げを行い、博物館の持つ資源の活用を図っていきます。

	改善見直し内容	指標
①	文化の森と四国大学、徳島大学及び鳴門教育大学との連携による学芸員養成科目の開講	開講
②	「市町村立図書館等の貸出冊数」の目標数値を引き上げ	H24 7万冊 → H24 8万冊
③	徳島県立博物館の「学校の授業への講師派遣回数」の目標数値を引き上げ	H24 120回(累計) → H24 130回(累計)

【基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現】

現状と課題

一人一人が生き生きとしたうるおいのある生活を送るために、日常的にスポーツに親しむことができる環境や地域の活性化につながる競技スポーツの振興、文化財や伝統文化の保存・継承を通してはぐくむ郷土愛、芸術文化活動への取組みを通して得られる豊かな心と個性の伸長をめざし、様々なスポーツイベントの開催や競技力向上への取組、文化財の発掘・保存、学校への芸術家等の派遣などを実施しています。

今後は、新たに開校する鳴門渦潮高校を拠点とした生涯スポーツの担い手の育成や競技力向上のための取組みを進める必要があります。また、伝統芸能や文化財を活用した郷土を愛する心の育成が課題となっています。

改善・見直しのポイント

- 新たな「徳島県スポーツ振興基本計画」を策定し、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」の振興、「学校における体育・スポーツ」の充実を図ります。
- 「する」「見る」「支える」など多様なスポーツへの取組みを推進するため、各種スポーツイベント等における助成数の数値目標を引き上げます。
- 鳴門渦潮高校に本県初となるスポーツ科学科が設置されることに伴い、本県スポーツの拠点として、関係団体との連携や近隣運動施設の活用などにより、生涯スポーツの担い手の育成や競技力向上に取り組みます。
- 小・中・高等学校に、芸術家や伝統芸能の保持者などの派遣を推進し、講話や実技披露などを行うことにより、豊かな心と感性をはぐくみます。
- 本県で2回目の国民文化祭が開催されることに合わせて、文化の森総合公園各館において、関連する企画展等を開催します。

	改善見直し内容	指 標
①	「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し時期を設定	H24 策定
②	多様なスポーツへの取組みを推進するため、「イベント等助成数」の目標数値を引き上げ	H23 80件 → H24 90件
③	鳴門渦潮高校において中学生が体験する育成プログラムの受講人数の数値目標を設定	→ H24 30人
④	鳴門渦潮高校においてセミナー等の開催回数の数値目標を設定	→ H24 10回
⑤	鳴門渦潮高校においてスポーツ科学分析機器を活用した科学的なサポートの実施人数の数値目標を設定	→ H24 300人
⑥	学校への芸術家等派遣回数目標数値を引き上げ	H24 400回(累計) → H24 520回(累計)
⑦	国民文化祭の開催に合わせて、文化の森総合公園各館において、関連する企画展等を開催	開催